

茨城県内における熱中症による死亡災害発生状況（令和4年～令和5年）

発生年月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	災害の概要
1 令和4年6月 10時から11時	作業者 50歳代 16年	土木工事業	国道の歩道脇において、コンクリートブロックの設置作業中、めまいの症状を示したため、休息したものの回復しないまま意識不明となり、病院に搬送されたが、約2か月後、熱中症の疑いで死亡した。 当日の最高気温は37.1度を記録していた。
2 令和4年7月 10時から11時	作業者 20歳代 1年	その他の建設業	太陽光発電所建設工事現場で、朝から太陽光発電施設の架台組立、パネル設置の作業を行っていたが、午前の休憩後に体調不良となり病院に搬送され、翌日、熱中症の疑いで死亡した。 当日の最高気温は34.4度を記録していた。
3 令和4年8月 15時から16時	販売店員 50歳代 11年	小売業	ガソリンスタンドにおいて、午前中から給油、洗車作業を行い、午後になって洗濯したウエスを干す作業をしていたところ、倒れているのを発見された。病院に救急搬送されたが熱中症の疑いで死亡した。 当日の最高気温は36.1度を記録していた。
4 令和5年7月 14から15時	作業者 20歳代 0か月	土木工事業	駐車場の舗装工事において、午前8時から資材等を運搬する作業に従事していたが、午後2時頃に気分が悪くなり、車内で休憩していた。その後、病院へ搬送されたが熱中症の疑いで死亡した。 当日の最高気温は32.0度を記録していた。